

IT業界、不況これから…

休業中に人材育成

雇用調整助成金を活用

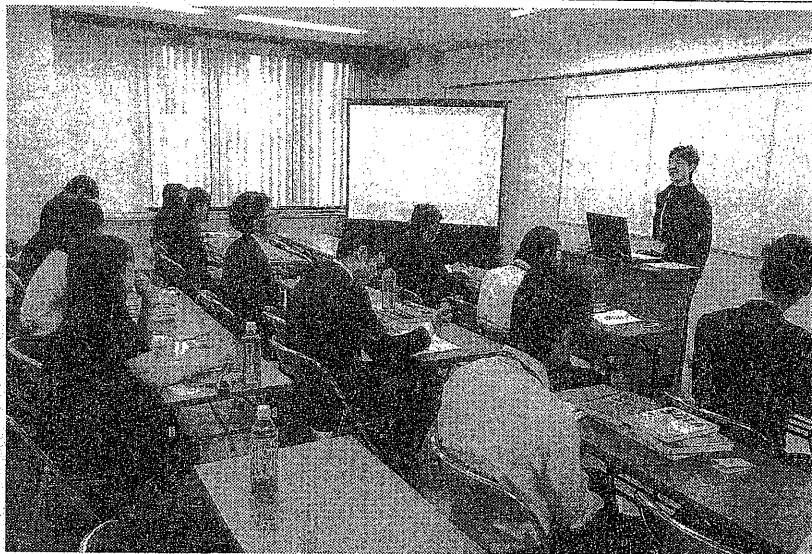
神情協が支援事業

県内のIT関連企業318社で構成する神奈川県情報サービス産業協会(神情協、横浜市神奈川区)は、受注減で休業日の設定を余儀なくされている会員企業を対象にした支援事業を始めた。雇用調整助成金を活用し、会員企業が持ち回りで講師となり得意分野を伝授する講習会を開催している。休業中に従業員のスキルアップにつなげるのが狙いという。

(千葉 龍太)

IT業界は、製造業より半年から1年遅れで景気低迷の影響が出るとされる。製造大手は在庫調整を終えた局面になっているが、神情協によると、会員の中には4月以降、従業員を休業させる企業が增加。雇用調整助成金を申請し、従業員の教育訓練を実施したいとする企業の声も寄せられているという。

IT業界は、製造業より半年から1年遅れで景気低迷の影響が出るとされる。製造大手は在庫調整を終えた局面になっているが、神情協によると、会員の中には4月以降、従業員を休業させる企業が增加。雇用調整助成金を申請し、従業員の教育訓練を実施したいとする企業の声も寄せられているという。



それぞれ得意分野の講習会を企画。これまでの技術講習が不足している。講習

座を発展させ、実用的なシステム運用キャリアアップ講座などの講習を行う予定。神情協は「IT業界では技術力の高いシステムエンジニアが不足している。講習

を機に会員会社には人材育成にも努めてほしい」としている。

雇用調整助成金は、業績不振で休業日を設定する企

業を支援する制度。申請が受理された場合は、教育訓練以外にも休業日に一人当たり最大7730円支給される。

横浜市中区